

(公財)ライオン歯科衛生研究所

東京デンタルクリニック 03・3473・6721

<http://www.lion-dent-health.or.jp/meguro/>

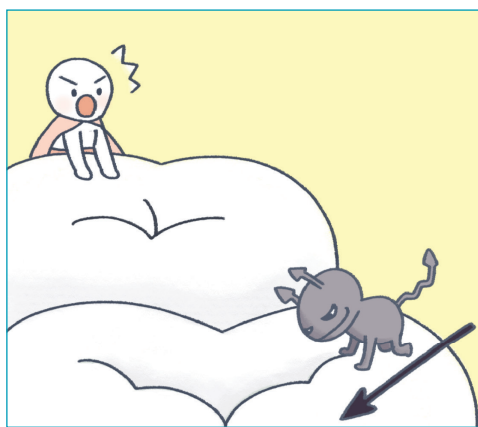
東京都品川区東五反田 5-23-7 五反田不二越ビル2階
10:00～13:00/14:00～18:00 [休診]木・日・祝

《歯周病外来》月・水 10:00-13:00 17:15-20:00

JR 山手線・東急池上線・都営浅草線 五反田駅より徒歩3分

いつも守っているからね!

シーラントくん からの手紙



小さなお子様には
読んであげてくださいね



こんにちは!

ぼくは「シーラント」です。歯医者さんで使われる、とってもとってもやわらかいプラスチックの素材だよ。

ぼくの名前は「シールをする、封鎖する」という意味があるんだけど、どこを封鎖するかっていうと、歯のかみ合わせの面にある溝。すごく複雑で深くてむし歯になりやすいところなんだ。

ねえねえ、キミ、来年は小学生になるんだって? そろそろ生えてきていないかな、大人の歯。こどもの歯のいちばん後ろに、ちょっと白くて硬い大人の歯が顔を出していないかな。

え、あった!? じゃ、シーラントの時間だよ。

大人の歯ってさわると硬いんだけど、生えてきたばかりの歯は実はまだまだ弱いんだ。カルシウムの量が少ないからね。だから、むし歯菌の作る酸にも弱くて、幼弱永久歯(ようじゃくえいきゅうし)って呼ばれてるくらい。だから、幼弱永久歯はお口の中にでてきてから1年から3年ぐらい経ってちゃんと大人になるまで、ぼくはキミの歯をむし歯菌から守っていたいんだよ。

歯を削ったりはしないし、時間もそれほどかからない。歯医者さんで、歯の表面をおそうじしてもらって、それからぼくが登場! キミの歯の上をシーラントでカバーして、光をあてて、おわりだよ。

ぼくはずっとキミの歯の上になりたいけど、えっと、ほんとは歯から取れちゃうこともある。でも、そのころには、キミの歯がもう丈夫な大人の歯になっていて、むし歯になりにくくなっている、そういう作戦なんだよ。ぼくはいつでもキミたちの味方、むし歯にならないように応援しているからね! こどもの歯にもできるよ!

シーラント材

東京デンタルクリニックで行っているシーラント材を使った具体的な処置の手順をご紹介します。

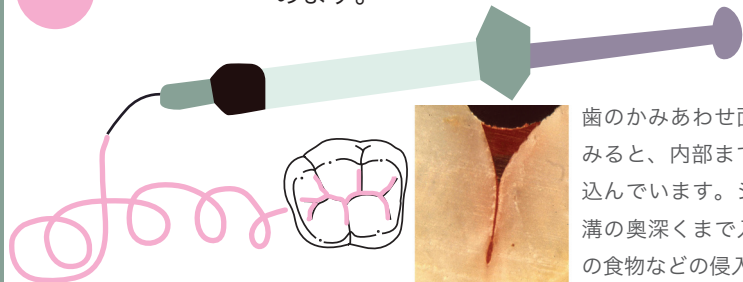
歯を削らず、歯の溝の部分をガードすることでむし歯を防ぐ方法です。現在では、ごく細いノズルで溝部分のみ最小範囲を処置できるようになっています。

- 清掃
- 歯面処理
- 塗布

歯の表面をきれいにします。

歯の溝の部分だけに薬剤を塗り、シーラント材をくっつきやすくします。

溝の部分にシーラント材を塗って、光を当てかためます。



歯のかみあわせ面の溝を断面で見ると、内部まで深く溝が入り込んでいます。シーラント材は溝の奥深くまで入って外来からの食物などの侵入を防ぎます。

シーラントの歴史と今

むし歯の予防方法には、フッ素の利用や歯みがきなどさまざまな方法があります。その中で、シーラントはむし歯になりやすい歯の溝をあらかじめ樹脂で物理的に封鎖しておくというユニークな方法で、1960年代から現在に至るまで継続して利用されています。樹脂の材質は、シアノアクリレート系、Bis-GMA系、MMA-TBB系、ポリウレタン系、グラスアイオノマー系など、さまざまな材質が発売されましたが、当初は塗布してからそのまま固まるのを待たなくてはなりませんでした。

現在では、グラスアイオノマー系、Bis-GMA系素材が主流。東京デンタルクリニックではBis-GMA系の製品を利用しています。いずれも光を当てて秒速で硬化させる光重合型で処置の時間が短くなっています。

いつから？

1960年代から奥歯の溝に対するむし歯予防対策のひとつとして研究開発され、日本でも予防効果についての研究がされています。

効果は？

2016年ADA（アメリカ歯科医学会）では、永久歯の奥歯で、80%のむし歯予防効果があるとしています。

Sealants for preventing and arresting pit-and-fissure occlusal caries in primary and permanent molars. Journal of the American Dental Association July 19,2016

これからは？

現在日本で行われている健康増進のための取り組み「健康日本21（第2次）」では、健康格差、地域格差の解消へ向けて、今後のむし歯予防対策を進めるにあたり、治療の効果がある予防方法として、フッ素の利用とともに推奨されています。

健康日本21（第2次）の推進に関する参考資料 平成24年7月 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会 次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会

「ムセ」が気になりませんか？

ご自身やご家族が、食事の際、汁物でムセたりしていませんか？ 最近ちょっとよくムセる、食事に時間がかかる、歯ごたえのあるものが食べにくいなど、少しでも気になったら早めにご相談ください。

毎月第一土曜日「口腔機能外来」では、食べ方や飲み込みについての専門医・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 大平真理子先生がみなさまのご相談をお受けしています。

障がい者外来開設日

12月	3日(月)	8日(土)
	10日(月)	17日(月)
2019年	7日(月)	19日(土)
1月	21日(月)	
2月	4日(月)	9日(土)
	18日(月)	25日(月)

障がい者手帳をお持ちの方だけでなく、歯科治療に慣れないお子様やご高齢で介助の方と共に治療をご希望の方もご利用いただけます。

担当
グリーンンせつる先生



(公財)ライオン歯科衛生研究所
東京デンタルクリニック

ご予約はお電話で→ 03・3473・6721

編集局だより

「歯刷子」これ、なんと読むでしょう？ ライオン歯科衛生研究所のホームページ「歯みがき100年物語」には、歯ブラシが最初に「歯刷子」として登場したときなどエピソード記事が満載です。年末年始、お時間のある際に「歯みがき100年物語」ちょっとのぞいてみませんか？ (右のQRコードをスマホや携帯のカメラで)

